


 名代
早雲長次

一夜又野上の里に草花ひらき妹春の梓巫女惚気の生口元の袖を
春濃き草花の足移るへ侍高行孫送葉竹秋葉も山路のま
六百番の哥合

衆名那須有口
 衆名三助白狐
 長明海道記

名物時雨蛤
入斗七

色と並合任民人と宿志してまに窓の間の君女は客は留てまじく
 懐念し一症の所家老千年のちごうに次女と歌を国もはれ菊



千秋萬歲樂

山名すゞぐり
 中川之べく内
 石性小一外
 下人市之
 生木、おとめ
 日 おうめ
 わるん おせん
 ろも本佐之
 う田仙ある
 川さ軍さ
 たへこおさん八
 けいこかうう
 けんてきき志の
 仲居さ
 小波母あま
 伊川こそま平
 かまひける
 けんせひなづ
 形と上云は
 多ほやま外
 素律の移ち
 小女ふり子
 を希國方文城
 柳は堂かま
 一の園 あり前
 城山云分さつ

狂言作者
 並木五藏
 中村岩蔵

山下金五郎
 市川若年
 中村外若年
 山下若年
 行末若年
 浅尾若年
 新井若年
 山崎若年
 市川虎十郎
 市川二平
 市川三郎
 市川四郎
 市川五郎
 市川六郎
 市川七郎
 市川八郎
 市川九郎
 市川十郎
 市川十一郎
 市川十二郎
 市川十三郎
 市川十四郎
 市川十五郎
 市川十六郎
 市川十七郎
 市川十八郎
 市川十九郎
 市川二十郎